

1 教材 教科書 Power On English Communication Ⅱ (東京書籍)

単元 Lesson4 “Vending Machines”

2 指導にあたって

(1) 教材観

日本と外国の自動販売機の違いや、新たに導入された工夫について書かれた様々な種類の文で構成された題材である。その考えを基に、自分が想像する便利な自動販売機について考えさせ、例を用いながら自分の言葉で英語を使って相手にプレゼンする力をつけさせたい。

(2) 生徒観

(略)

(3) 指導観

次の内容へのスムーズな繋がりを図るために、前時の学習内容を題材に、生徒とのやりとりを通し、新出語彙の定着や内容理解、簡単な要約作りを積み重ねていく。また、一人では分からない事でもペアワークやグループワークを通し、互いに教え合い、楽しく取り組む雰囲気を作っていく。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

自動販売機の社会における新しい役割や、日本と世界の違いに、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。

(2) 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<p><知識>文章を読み取るために必要な語彙や表現を理解できている。</p> <p><技能>自動販売機について書かれた文を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>自動販売機の社会における新しい役割を理解し、興味をもった自動販売機についての発表を行うために、自動販売機について書かれた文を読んで、概要や要点を捉えることができる。</p>	<p>自動販売機の社会における新しい役割を理解し、興味をもった自動販売機についての発表を行うために、自動販売機について書かれた文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。</p>
話すこと (発表)	<p><知識>自分の考えや気持ちなどを理由とともに、話して伝えるための語彙や表現を理解している。</p> <p><技能>自動販売機の社会における新しい役割をテーマに「情報」や「考え」を話して伝える技能を身につけている。</p>	<p>自分の考えや気持ちをよく理解してもらえるように、興味をもった自動販売機をテーマに、理由とともに、情報や考えを話して伝えている。</p>	<p>自分の考えや気持ちをよく理解してもらえるように、興味をもった自動販売機をテーマに、理由とともに、情報や考えを話して伝えようとしている。</p>

4 指導と評価の計画(15H)

時間	ねらい(■)言語活動(○数字)	知	思	態	備考
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■自動販売機産業を例に、成長維持のための産業構造変化について理解する。</p> <p>①教科書の写真やビデオをみて、日本の自動販売機についての背景知識をもつ。</p> <p>②Part I の新出語句、熟語を確認</p> <p>③リーディング、リスニングを通して日本と諸外国の自動販売機の違いを捉える。</p>				
2~12	<p>各 Part I 時間目</p> <p>■概要把握</p> <p>■新出語句、熟語の確認と定着</p> <p>■内容理解</p> <p>①新出語句・熟語を確認</p> <p>②内容理解</p> <p>③音読練習</p>				
	<p>各 Part 2時間目 (本時は Part 2 の2時間目)</p> <p>■内容確認</p> <p>■本文で読んだり聞いたりした語句を使い、筆者の考えや情報を簡単にまとめる方法を身につける。</p> <p>①音読練習、新出語句・熟語を確認する。</p> <p>②本文中のいくつかの語句を使い、本文の内容についてペアで確認する。</p>				
13	<p>■単元の全体の内容確認</p> <p>■語彙・熟語を確認</p> <p>①単元全体の振り返り</p> <p>②Summary の音読</p>				
14	<p>■興味をもった世界の自動販売機を調べることを通して、自分の興味をもったことについて、英語で、相手に説明し、自分の考えを伝える力をつける。</p> <p>■単元で出た表現を使い、語彙の定着を図る。</p> <p>①KeyWords をのせたポスター作成</p> <p>②発表原稿作成</p>	○	○	○	
15	<p>■興味をもった自動販売機について、理由とともに、情報や考えを話して伝える。</p> <p>■Key Words を利用し、相手に自分の考えを伝える。</p> <p>①グループ内での発表活動</p> <p>②感想を述べあう。</p> <p>③代表者による発表。</p>	○	○	○	

一斉に記録に残す評価はなし。ただし狙いに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かす。

5 本時の目標と評価規準

(1) 目標

自動販売機の社会における新しい役割について、聞いたり読んだりしたことを基に、筆者の考えや情報を簡単にまとめ、伝える方法を身につける。

6 本時の展開 (7/15 時間目)

時間 (50)	学習内容	生徒の学習活動	教師の活動 指導上の留意点	主な評価の 観点	ICT 機器の 活用
3分	挨拶	前時の内容について 思い出す。	・やりとりを通して前時 内容の確認 ・生徒の様子を見なが ら、Par2 内容を補足	・発問の意味 を理解できる か。	
5分	語彙	リピートなど	・徐々に負荷をかけて いくことに配慮 ・重要な語彙の取捨選 択	・新出語彙を 発音できる か ・新出語彙の 意味を理解 できたか。	・大型提示装 置 指導者用デ ジタル教材フ ラッシュカー ド使用
7分	音読練習	・発音、本文の内容確 認 ・音読	・机間指導を行い、生 徒がつまづいている表 現は、全体で共有	・意欲的に取 り組んで ・意味を考え ながら音読 できている か。いるか。	・大型提示装 置 指導者用デ ジタル教科 書 本文提示 音声使用
10分	Small Questions	内容確認	・本文の要点 ・閉本の指示 Key words の板書を 理解	生徒が答え やすいように 分かりやすい 質問 ・本文の内容 を理解できて いるか ・発問の意味 を理解できる か。	
25分	mini サマリ ー	1-3 教科書を見な がら 4-6 閉本 7 発表	・「I word でも OK」な どの声掛け、「Yes or NO Question」など、 生徒の理解度に応じて 対応		